

メイグリュンワルド-ギムザ染色

概要

目的： 血液塗抹標本や原虫の検出に使用される。

原理： ギムザ液は、メチレン青、アズール青などの塩基性色素とエオジンの酸性色素との混合物。原理はメチレン青をアルカリ溶媒中で酸化しアズール青を生じる。メイグリュンワルド染色液は、好中性顆粒をよく染める。

染色結果

核：	赤紫色
細胞質：	青色
赤血球：	赤～ピンク
好酸性顆粒：	赤色
好塩基性顆粒：	青色

方法

準備

1. ギムザ染色液（製品番号：[GS500](#)など）
2. メイグリュンワルド染色液（製品番号：[MG500](#)など）

染色手順

- 手順 1. ギムザ染色液を純水で 1 : 20 に希釈する
- 手順 2. キシレンやアルコールで脱パラフィンし、流水洗
- 手順 3. メイグリュンワルド染色液で 5 分浸水
- 手順 4. リン酸緩衝液かトリス緩衝液（20～70 mM, pH7.2）に 1～5 分浸水
- 手順 5. 希釈したギムザ染色液に 15～20 分浸水
- 手順 6. 軽く水洗
- 手順 7. アルコールで脱水、キシレンで透徹
- 手順 8. 封入

ギムザ染色液（製品番号GS500）の製品説明書は[こちら](#)